

全日程を無事に終了し、みんなで記念写真をパチリ

初心者カヌースクール成功 ～若者の力を公民館へそして地域へ～

年齢制限の為に参加できない方からは「親子で参加できるカヌー教室があるといいのに」という小学生のお子さんをお持ちのお母さん。そして

公民館としては一人でも多く参加してもらいたい。そんなことから、小須戸町の企業や事業所などにも案内チラシを持って訪問しました。

そのかいあって参加者は二十名になりました。

年齢制限の為に参加できない方からは「親子で参加できるカヌー教室があるといいのに」という小学生のお子さんをお持ちのお母さん。そして

戦時中、海軍に所属していたというおじいさんは「若者に負けない自信があるから俺もカヌーをならいたいなあ」といった予想もしていなかった。要望までいただきました。

大自然と優しい指導者に囲まれて

カヌースクールの会場は三川村の揚川ダム湖です。壮大な山々や森林を背景に、自然と一体感を味わいながら教室はスタートしました。

参加者は十八才から三十五才までの町内在住者、又は住勤者です。皆さん職業も様々で、女性の方も五名いらっしゃいました。

カヌーを指導していただいたのは「三川海洋クラブ」の皆さんで、教室の開催日が毎週日曜日であるにもかかわらず熱心に指導していただきました。

又、指導していただくばかりではなく、危険がないよう監視もしてくれていました。

思い切り楽しんで練習できたカヌー

練習は陸上でパドルの握り方とこぎ方から始まり、そして浅瀬でカヌーの乗り方と降り方を習いました。

いよいよ水での練習です。基本的な直進、バック、曲がり方を教えてもらいましたが、実際にやってみると基本中の基本である直進でさえ思

もつと若い人たちが公民館を利用していただきたい。その一つのきっかけとして公民館では「初心者カヌースクール」を開催しました。

「公民館に行く目的がない」と感じている若い人たちもいると思われ、実際に公民館活動をしている人たちの中には若い世代の方が少ないのも事実です。



指導者の説明を真剣に聞いている参加者

水上は別世界、皆さんもカヌーに挑戦してみれば

カヌーをこいでいて感じることは、普段陸上で生活している人間にとって別世界であり、やることすべてが即感動に結びつくことです。

大きな船に乗って感じるのとがでない大自然の中に溶け込んでいくような感覚が心地よく、素晴らしい感動が味わえました。

水しぶきを浴び、波を突っさる爽快感に参加者全員が歓声をあげ、スリルと緊張感を十分楽しんでいたようでした。

水上は別世界、皆さんもカヌーに挑戦してみれば

カヌーをこいでいて感じることは、普段陸上で生活している人間にとって別世界であり、やることすべてが即感動に結びつくことです。

大きな船に乗って感じるのとがでない大自然の中に溶け込んでいくような感覚が心地よく、素晴らしい感動が味わえました。

不安定なカヌーの乗り降りをしていねいに、指導してもらっているところ。

カヌーは身近な乗り物です。スイ、スイと水上散歩。

ちよこつと一言

(113)

私が小須戸町に来て三年が経ちました。来た当初、会社の人に「小須戸のどこ？」と聞かれ「竜玄分かるかな。」と答えると「いいよね。のどかで田んぼに囲まれていて遠くに電車が見えたり。」なんて言われてました。

それが今年、育児休業をもらい子供と散歩していると、



竜玄 斉藤 智美さん

本当に田んぼの向こうに電車が見えたり、なんてことのないドブにザリガニやドジョウの姿が見えたり、夏の夜には螢にカブト虫と、好奇心旺盛な子供達の喜ぶものがギッシリと詰まっている所でした。

私が子供の頃には、まだまだ見られる光景でしたが、今では、少なくなってしまうこんな所をこれから先もずっと残していきたいですね。

努力してゆこうではありませんか。

「こんなことをやりたい」「こんなサークルを作りたい」そのような要望は、公民館としては十分協力いたします。

指導者や講師を探し、一緒に企画や打ち合わせをしながら一つのサークルを作ってみよう。そんなこともまた皆で出来たら良いと思っています。

カヌースクールの成功をステップとして、若者たちでにぎわう公民館、そして小須戸町になるよう皆さんと一緒に

「カヌーをやったからもう十分」ではなく、「次にどんなことをやろうか」という継続力が出てくるのが望ましいと思っています。

別にスポーツだけにこだわらなくてもいいです。文化、芸術、芸能など何でも良いのでいいです。

「こんなことをやりたい」「こんなサークルを作りたい」そのような要望は、公民館としては十分協力いたします。

指導者や講師を探し、一緒に企画や打ち合わせをしながら一つのサークルを作ってみよう。そんなこともまた皆で出来たら良いと思っています。

カヌースクールの成功をステップとして、若者たちでにぎわう公民館、そして小須戸町になるよう皆さんと一緒に

「カヌーをやったからもう十分」ではなく、「次にどんなことをやろうか」という継続力が出てくるのが望ましいと思っています。

別にスポーツだけにこだわらなくてもいいです。文化、芸術、芸能など何でも良いのでいいです。



不安定なカヌーの乗り降りをしていねいに、指導してもらっているところ。

「カヌーは、すくおもしろかったです。自由ののびのびと練習ができて良かったと思います。」

そして、参加者同志、仲間づくりもできてありがたかったです。

次は水上スキーでも本格的にやってみたいですね。

「カヌーをやったからもう十分」ではなく、「次にどんなことをやろうか」という継続力が出てくるのが望ましいと思っています。

別にスポーツだけにこだわらなくてもいいです。文化、芸術、芸能など何でも良いのでいいです。

「カヌーは、すくおもしろかったです。自由ののびのびと練習ができて良かったと思います。」

そして、参加者同志、仲間づくりもできてありがたかったです。

次は水上スキーでも本格的にやってみたいですね。

「カヌーは、すくおもしろかったです。自由ののびのびと練習ができて良かったと思います。」

そして、参加者同志、仲間づくりもできてありがたかったです。

次は水上スキーでも本格的にやってみたいですね。

「全力で投げて、まず一勝したいです。」

渡辺 淳君

「出れるだけでうれしいです。思いきりがんばってきたいと思えます。」

木村 裕助君

「カヌーは、すくおもしろかったです。自由ののびのびと練習ができて良かったと思います。」

そして、参加者同志、仲間づくりもできてありがたかったです。

次は水上スキーでも本格的にやってみたいですね。

「カヌーは、すくおもしろかったです。自由ののびのびと練習ができて良かったと思います。」

そして、参加者同志、仲間づくりもできてありがたかったです。

次は水上スキーでも本格的にやってみたいですね。

がんばったね 小須戸っ子

甲子園出場 渡辺 淳君 木村 裕助君

第七十九回全国高校野球選手権大会で日本文理高校が出場します。その選手の中で小須戸町文京町の渡辺淳君、水田の木村裕助君が出場します。

二人は共に小須戸町スポーツ少年団出身で、県大会では木村君はバッテリーとして活躍し、甲子園出場の大きな力としてチームを優勝に導きました。

七月三十日に小須戸町役場に訪れ、町長さんと体育協会会長さんより激励の言葉を受けた後、後輩たち小須戸野球スポーツ少年団と微笑ましい交流の場面もみられました。

初戦の相手は、強豪智弁和歌山高校。ベストをつくした好ゲームを期待します。

小須戸町ぐるりのひととまわり

家庭教育学級「つくしんぼ」ミニ遠足

七月十一日(金) 乳児家庭教育学級「つくしんぼ」で親子そろってのミニ遠足を行いました。

あいにく雨模様でしたが、マイクロバスで町の主な公共施設を巡り、そして小須戸町の豊かな自然を見ていただきました。

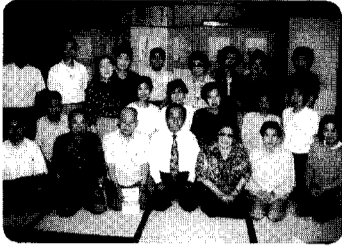
中央公民館を出発し、最初に立ち寄ったのは「花とみどり館」です。館内に入り見学させてもらいましたが、あらためて「花の町小須戸」を感じてもらえたと思います。

次は「せせらぎと散策の森」に向かいました。車窓から見えはじめた光景に「ウワー」とお母さん方から歓声があがります。



ふれあい会館であそぶお母さんと子どもたち

7月のナイスショット



11日 「おもしろ雑学講座」
～こしの干瀬と私～野崎迪夫さん



12日 「親子チャレンジ教室」
炎天下のもとコツをつかみながら楽しみました。
ニュースポーツ、グランドゴルフにチャレンジ。



12日 「花いっぱい教室」
「花壇の管理ってたいへんね～」サルビアの切り木を实践

催し物ご案内

子どもアニメ映画会

中央公民館では、夏休みに入っている子供たちのために、アニメ映画会を開きます。大画面で楽しいアニメをみましょう。みなさんどうぞ!!

中央公民館

八月二十二日(金)
午前十時～十一時三十分
午後二時～三時三十分
八月二十二日(金)
午後二時～三時三十分
※いずれも入場無料です。

ふれあい会館

八月二十二日(金)
午後七時三十分～九時
中央公民館二階会議室

九月のおもしろ雑学講座

九月十三日(土)
午後九時から午後七時
(最終日は四時まで)

第六回創風会書展

九月十五日(月)
午前九時から午後七時
(最終日は四時まで)

初心者絵手紙講座

九月二十四日(水)、
二十六日(金)、
三十日(火)

学校開放講座

九月四日(月)切です

横水分館運動会終了

今年も盛りあがったぞー!

七月二十日(日) 横水保育園跡地広場に於て横水分館運動会が開かれました。対抗種目や自由種目に計十六の競技を行い、各種目ごとに参加選手は、我がチームの勝利のために大粒の汗を流しながらゴールを目指していました。

レースは文京町チームと横川チームの大接戦。最後はジャンケンで優勝が決まるといふ劇的な展開。さて優勝は...文京町チームが優勝!

選手も観客も最後までハラハラドキドキ。額に汗し、手に汗し、横水分館の運動会はスリリングに、そして楽しく終了しました。

優優勝

文京町チーム
横川チーム
水田チーム
小向チーム

県立新津南高等学校

「学校開放講座」

今年で四年目を迎えます、「学校開放講座」が開かれます。

日頃学べない専門の知識をこの機会に学んでみてはどうでしょうか。多数の方の受講をお待ちしています。

※なお、チラシを配布いたしましたので、申し込み書を中央公民館か新津南高校へ持参願います。

第十五回町民俳句大会

作品募集

対象 町民及び当町勤務・通学者
○投期 当期雑誌(未発表)で三句一組限りとする。
○締切り 九月十四日(日)厳守
○投句先 中央公民館及び投句箱

投句箱設置場所

矢代田駅・福祉センター

投句用紙

投句箱備え付け用紙又は同形のものを

選考

町在住各俳句会同人十名の合点による

発表

十一月一日からの文化祭会場及び発表紙(有料)

表彰

町長賞・議会議長賞・教育長賞・中央公民館長賞他

主催

小須戸町俳句同好会
後援 文化協会・中央公民館
ご応募、お待ちしております。

シリーズ 「今、子どもたちは」 (12)

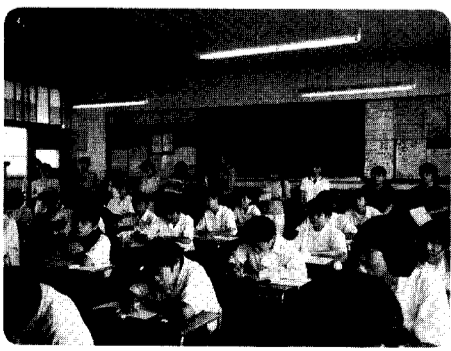
道徳授業を公開

七月五日、文部省の指定を受けた道徳教育推進事業の一環として、道徳授業を一般に公開しました。春に行った道徳性検査の結果、友情信頼、健全な異性観など主として他の人との関わりや集団生活の向上。そして郷土愛、家族愛など主として集団や社会との関わりに関することが本校の生徒の弱点として指摘されました。

そこで授業は「集団生活の向上」「理想社会の実現」「集団と個人の役割」「正義感」「家族愛」「祖父母への敬愛」「生命の尊重」などの主題で行われました。

授業後の懇談会では、生徒が真剣に教師と心を通わす様子や、和やかに展開する授業について、よかったという感想などが聞かれました。

小須戸中学校



文芸欄

争ったことには触れず朝の膳
朝食を抜いても伸びる現代っ子
わがままが永い間と嫁ぐ朝
朝霧を縫うて作務衣の竹箒
渡辺信子

梅雨曇る夕べに蛙の鳴くを聴く
澄みたる音の近き遠きに
耳底に呼び起されて来し旅のあり
水河大古の響きの音
戸を開けて「はいっ」と差し出す
す両の手の紙の中に牡丹が香る
遠さかる下駄音で終わる短編の温く
み湧きくるを抱きてねむりぬ
村山文子

常夜燈を点して梅雨の宮
あちさるの穂を揺らして朝の池
忍びても軋む吊橋藤匂ふ
細首の瓶に挿しある鉄線花
大佐渡の夏がおどけてつるさし
月下美人寝酒の利きのほんのりと
あじさるの似合ふて雨の曲り角
蚊遣香むかしは時のゆるやかに
間野えり
松沢キヨ
篠田悦子
高橋ミドリ
間島秀穂
間野良遊
丸山虚秋
田中美根子

梅雨曇る夕べに蛙の鳴くを聴く
澄みたる音の近き遠きに
耳底に呼び起されて来し旅のあり
水河大古の響きの音
戸を開けて「はいっ」と差し出す
す両の手の紙の中に牡丹が香る
遠さかる下駄音で終わる短編の温く
み湧きくるを抱きてねむりぬ
村山文子

常夜燈を点して梅雨の宮
あちさるの穂を揺らして朝の池
忍びても軋む吊橋藤匂ふ
細首の瓶に挿しある鉄線花
大佐渡の夏がおどけてつるさし
月下美人寝酒の利きのほんのりと
あじさるの似合ふて雨の曲り角
蚊遣香むかしは時のゆるやかに
間野えり
松沢キヨ
篠田悦子
高橋ミドリ
間島秀穂
間野良遊
丸山虚秋
田中美根子

常夜燈を点して梅雨の宮
あちさるの穂を揺らして朝の池
忍びても軋む吊橋藤匂ふ
細首の瓶に挿しある鉄線花
大佐渡の夏がおどけてつるさし
月下美人寝酒の利きのほんのりと
あじさるの似合ふて雨の曲り角
蚊遣香むかしは時のゆるやかに
間野えり
松沢キヨ
篠田悦子
高橋ミドリ
間島秀穂
間野良遊
丸山虚秋
田中美根子

常夜燈を点して梅雨の宮
あちさるの穂を揺らして朝の池
忍びても軋む吊橋藤匂ふ
細首の瓶に挿しある鉄線花
大佐渡の夏がおどけてつるさし
月下美人寝酒の利きのほんのりと
あじさるの似合ふて雨の曲り角
蚊遣香むかしは時のゆるやかに
間野えり
松沢キヨ
篠田悦子
高橋ミドリ
間島秀穂
間野良遊
丸山虚秋
田中美根子

常夜燈を点して梅雨の宮
あちさるの穂を揺らして朝の池
忍びても軋む吊橋藤匂ふ
細首の瓶に挿しある鉄線花
大佐渡の夏がおどけてつるさし
月下美人寝酒の利きのほんのりと
あじさるの似合ふて雨の曲り角
蚊遣香むかしは時のゆるやかに
間野えり
松沢キヨ
篠田悦子
高橋ミドリ
間島秀穂
間野良遊
丸山虚秋
田中美根子

常夜燈を点して梅雨の宮
あちさるの穂を揺らして朝の池
忍びても軋む吊橋藤匂ふ
細首の瓶に挿しある鉄線花
大佐渡の夏がおどけてつるさし
月下美人寝酒の利きのほんのりと
あじさるの似合ふて雨の曲り角
蚊遣香むかしは時のゆるやかに
間野えり
松沢キヨ
篠田悦子
高橋ミドリ
間島秀穂
間野良遊
丸山虚秋
田中美根子



昨年の学校開放講座の様子です。



「今、子どもたちは」シリーズの一場面。